

平成23年1月4日

内閣総理大臣 }
防衛大臣 } あて
北関東防衛局長 }

福生市長 加藤育男

中期防衛力整備計画（平成23年度～平成27年度）に対する抗議・申入れ書

福生市は、日米安全保障条約に基づく横田基地の運用について、市域の3分の1を基地に提供し、さまざまな問題を抱えつつも協力し、今回の米軍再編計画に伴う航空自衛隊航空総隊司令部の横田基地移転問題についても容認してきた。

しかしながら、昨年12月17日に閣議決定された中期防衛力整備計画（平成23年度～平成27年度）において、「米軍とのインターオペラビリティを向上するため、横田基地を新設し、航空総隊司令部等を移転する。」と表記されたことについては、今までの説明の中では一切触れられていなかった文言であり、本市にとって、この文言は基地機能のさらなる強化がなされ、基地の態様の変化へとつながる重要な意味を含んでいるのではないかと懸念されるところである。

また、平成18年3月29日付、福企秘発第130号による、市及び市民への精神的、経済的影響があると思われる基地の態様の変化については、国は速やかに市及び市民への説明責任を果たすこととの要請に対しても、要請があった各事項については、重く受け止め、鋭意検討し取り組む所存であるとの回答をしているにもかかわらず、地元自治体に事前説明することなくいきなり公表した。

このような地元自治体を軽視したような今回のやり方は、これまでの信頼関係を根底から覆すような行為であり大変遺憾である。

以上のことから、今回の中期防衛力整備計画について、次のとおり抗議、申し入れするので、平成23年1月31日までに、文書を以て各項目ごとに回答願いたい。

- 1 閣議決定し公表する前に、なぜ地元（福生市）に説明等がなかったのか。
- 2 このような国の対応は、市との信頼関係を喪失させる最大の要因となると考えるが、国の考えを聞きたい。
- 3 「横田基地を新設」は、単なる呼称上の問題ではなく、大きな態様の変化であり、基地機能の強化につながるものと懸念するものであるが、このことについて説明願いたい。
- 4 再編交付金及び特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条交付金）等の交付額は、「横田基地を新設」ではなく、「航空総隊司令部等を移転」を前提に決められたものであると理解しているが、この理解は妥当か。
- 5 米軍とのインターオペラビリティ向上の意味するところを具体的に説明願いたい。

- 6 航空総隊司令部等の「等」とは、防空指揮群、作戦情報隊、気象関連部隊、警務関連部隊のみと考えていいか。
- 7 今まで国からは、府中基地からの航空総隊司令部及び関連部隊の移転以外の説明はなく、これに基づき、今後、これ以上の態様の変化や基地機能の強化については、絶対容認できない旨、市民や議会に説明（公約）してきている。
今後、さらなる部隊、航空機の移駐がされないことの確約をいただきたい。
- 8 その他、この7項目以外にも横田基地に関する情報があれば、説明願いたい。